

高知県感染症発生動向調査（週報）

2022年 第50週（12月12日～12月18日）

インフルエンザ予防接種について！

季節性インフルエンザは、その年により流行の程度に差がありますが、例年11月頃から患者が増え始め、12月から3月頃にかけて流行します。インフルエンザワクチンには、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症をある程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められていますが、抗体ができる予防効果が現れるにはワクチンを接種してからおよそ2週間かかると言われていています。かかりつけ医等医療機関にご相談のうえ、予防対策の1つとして予防接種をご検討下さい。

【感染症予防の基本】

予防接種は大切です。

予防接種とは、病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くするために、ワクチンを接種することをいいます。予防接種は病気にかかることを予防したり、人に感染させてしまうことで社会に病気が蔓延するのを防ぐ効果があります。また、ワクチンを接種していた方は病気にかかったとしても、重い症状になることを防げる場合があります。

●高知県庁ホームページ 健康対策課感染症対策 予防接種について

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/kansen-yobousessyu.html>

[新型コロナウイルスワクチン接種について](#) | 高知県庁ホームページ (kochi.lg.jp)



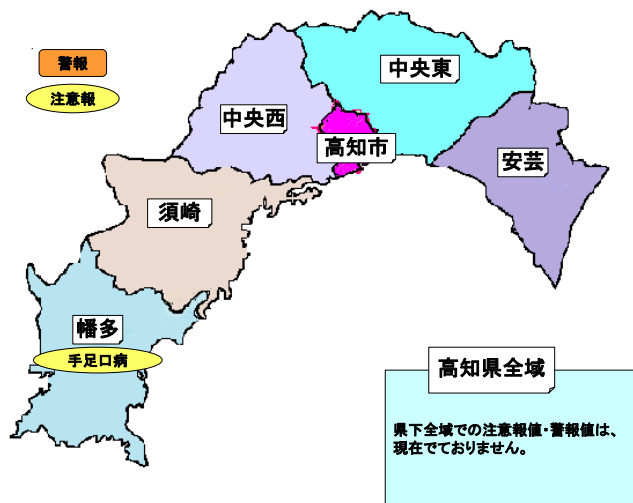
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	↘	1.15	中央西、須崎で急減、県全域、幡多、中央東で減少していますが、安芸で急増しています。
手足口病	→	0.96	中央西、高知市で減少していますが、中央東で増加し、幡多では注意報値を超えています。
突発性発疹	→	0.37	高知市、幡多で減少していますが、中央西、須崎、安芸で急増しています。
RSウイルス感染症	↗	0.33	須崎で急減していますが、幡多で急増、県全域で増加しています。
水痘	↘	0.15	県全域、幡多、高知市で減少しています。

★地域別感染症発生状況

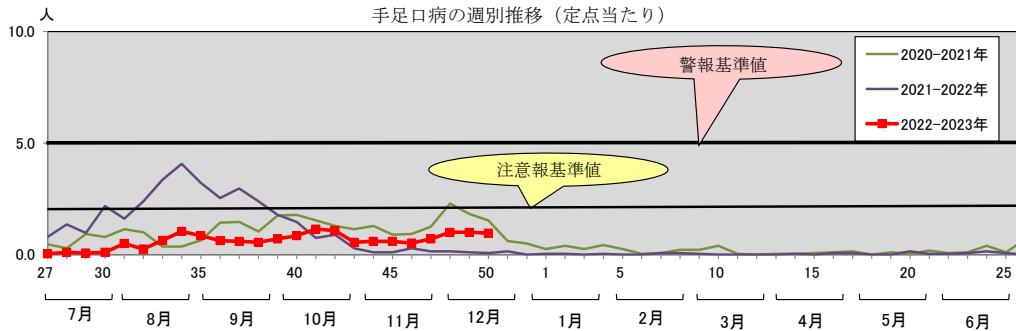


★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○手足口病の発生が継続！

手足口病は、4歳くらいまでの幼児を中心に夏季に流行が見られる疾患ですが、今年は冬季に入っても発生が続いています。2歳以下が半数を占めますが、学童でも流行的発生がみられることがあります。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

通常は3～5日の潜伏期において、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができます。ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。また、倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。



<予防方法>

- ・流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・回復後にも2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。
- ・タオル・コップ等は別のものを使い、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。

【学校感染症】

手足口病は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、条件によっては第3種の感染症の「その他の感染症」となります。出席停止期間の基準は「発熱や喉頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、治癒期は全身症状が改善すれば登校可能」ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

○ヒトメタニューモウイルス（hMPV）感染症に気を付けて！

この病気は、乳児や高齢者に上気道炎および下気道炎を起こす呼吸器感染症です。潜伏期間は4～5日、感染経路は飛沫感染と接触感染と考えられています。

流行時期には高齢者施設等での集団発生も散見されていますので注意してください。有効なワクチンがなく、呼吸困難や脱水などの症状に応じた対症療法が中心となります。

感染予防には、手洗い、うがい、マスクの着用、接触感染対策が大切です。

定点医療機関からのホット情報では、hMPVによる感染症が安芸1例、中央東17例、高知市28例、中央西4例、須崎6例、幡多7例の合計63例報告されており、年齢別にみると0歳から8歳で発症しています。

<予防方法>

- ・現在、ワクチンはありません。
- ・咳エチケットと手洗いを心がけましょう。

ダニの感染症（SFTS・日本紅斑熱・つつが虫病）に注意！

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

また、「ツツガムシ」に咬まれることによって感染する「つつが虫病」にもご注意ください。高知県では秋から冬にかけて多く報告されており、ダニの一種である「ツツガムシの幼虫（0.2mm）」が媒介する感染症です。（マダニ同様全てのツツガムシが病原体を持っているわけではありません。）

予防対策については、マダニと同じく「ツツガムシに咬まれない」ことです。

屋外活動する時には、長袖や長ズボンで肌の露出を避けることや、ツツガムシに対する虫除け剤（有効成分：ディート）を活用するなどマダニと同様の対策を実施しましょう。

【マダニ・ツツガムシに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニ・ツツガムシに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニ・ツツガムシに咬まれていないか確認しましょう。ペットの散歩等でマダニ・ツツガムシが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニ等に咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html

- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	1	68	60 歳代 女性	高知市
		1		90 歳代 男性	中央西
5 類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	5	60 歳代 男性	高知市
	梅 毒	1	46	70 歳代 女性	安 芸

★病原体検出情報

受付週	検体採取日	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
50	2022年10月	-	-	2か月	男	高知市	Cytomegalovirus
50	2022年10月	-	39℃,肝機能,	8	男	高知市	Cytomegalovirus
50	2022年5月	-	40℃,咳嗽,発疹,	1	男	中央東	Human herpes virus 6
50	2022年1月	川崎病	40℃,咳嗽,上気道炎,発疹,	2	男	中央東	Human herpes virus 6

前週以前に搬入

受付週	検体採取日	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
48	2022年9月	肺炎	40℃,嘔吐,腹痛,下気道炎,肺炎,	2	男	幡多	Respiratory syncytial virus A
49	2022年5月	上気道炎	38℃,上気道炎,	5か月	女	高知市	Rhinovirus

※12月1日（木）より病原体定点からの検体受付を再開しました。検査中断中に冷凍保存していただいていた検体も順次検査していますので、検体採取月を併記しています。

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	アデノウイルス腸炎 1 例 (8 か月女) hMPV 感染症 1 例 (4 歳男)
中央東	おひさまこどもクリニック	hMPV 感染症 3 例 (9 か月、2 歳、3 歳)
	高知大学医学部附属病院小児科	hMPV+アデノウイルス感染 1 例 (4 歳女) ライノウイルス気管支炎 1 例 (9 か月男)
	早明浦病院小児科	RS ウイルス感染症 1 例 (1 歳男) hMPV 1 例 (1 歳男) COVID-19 20 例 (0~14 歳)
	JA 高知病院小児科	サルモネラ腸炎 1 例 カンピロバクター腸炎 1 例 マイコプラズマ気管支炎 4 例 hMPV 気管支炎 12 例
高知市	高知医療センター小児科	RS ウイルス 1 例 (3 歳女) hMPV 8 例 (1 歳男 2 人、1 歳女 2 人、3 歳男 3 人、8 歳女)
	けら小児科・アレルギー科	hMPV 気管支炎 15 例 (1歳3人 2歳3人 3歳 4歳5人 5歳 6歳2人:週途中でキット不足)
	三愛病院小児科	hMPV 1 例 (1 歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 1 例
	ふないキッズクリニック	hMPV 感染 4 例
中央西	くぼたこどもクリニック	ヘルパンギーナ 1 例 (1 歳女: 高知市)
	日高クリニック	hMPV 4 例 (2 歳女、3 歳男、3 歳女、5 歳男)
須崎	もりはた小児科	hMPV 感染 6 例 (1 歳、2 歳 2 人、3 歳 2 人、5 歳) COVID-19 42 例
幡多	渭南病院小児科	hMPV 2 例 (1 歳男、5 歳男)
	さたけ小児科	手足口病 13 例 (2~5 歳) hMPV 1 例 (10 歳女) COVID-19 36 例 (2 か月~15 歳)
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 4 例 (1 歳 2 人、4 歳、5 歳) COVID-19 37 例 (小児科)

★注目すべき感染症

○無料の風しん抗体検査を実施しています

妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかること、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。風しんの予防には、ワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。風しんに対する十分な免疫があるかどうかは抗体検査で確認することができます。赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種をうけることをご検討ください。

風しんは、今は成人に多い病気です。特に 10 代後半から 50 代前半の男性、20 代から 30 代の女性が多く発病しています。

特に昭和 54 年 4 月 2 日から平成 7 年 4 月 1 日生まれの男女は予防接種の接種率が低く、昭和 54 年 4 月 1 日以前生まれの男性は子どもの頃に予防接種を受けるチャンスがありませんでした。このことから、風しんの追加対策として、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性には 2023 年 3 月 31 日までの間、無料の抗体検査及び予防接種（抗体検査で陰性の方を対象とする）が受けられるクーポン券が住民票のある市町村役場から発行されます。対象者の方は、まずは抗体検査の実施をお願いいたします。クーポン券の発行等についてはお住まいの市町村役場にお問い合わせください。

【無料の風しんの抗体検査について】

対象者：高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性

- ・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）

検査受付：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）。

検査結果：検査後 1~2 週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします。

●厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

●無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/2020051200219.html>

●風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け）<https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

●風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

★高知県の新型コロナウイルス感染症情報

高知県庁ホームページ：<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/info-COVID-19.html>

高知県の新型コロナウイルス感染症陽性者数

日付		陽性者	フォローアップセンター	死亡者
11/21	月	151	52	3
11/22	火	583	53	0
11/23	水	525	93	0
11/24	木	174	72	0
11/25	金	591	57	1
11/26	土	508	105	2
11/27	日	305	75	1
11/28	月	145	57	2
11/29	火	760	84	0
11/30	水	596	142	3
12/1	木	573	125	2
12/2	金	486	95	3
12/3	土	460	104	2
12/4	日	368	80	0
12/5	月	147	62	1
12/6	火	850	83	3
12/7	水	712	145	2
12/8	木	638	117	0
12/9	金	716	144	1
12/10	土	747	117	0
12/11	日	501	111	0
12/12	月	289	134	3
12/13	火	1179	145	1
12/14	水	1090	253	1
12/15	木	876	196	2
12/16	金	871	226	1
12/17	土	820	172	0
12/18	日	667	175	4
総計		125,678	4,769	356

総計はR2年2月28日以降の報告者数

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2022年12月19日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(56定点医療機関)

第50週 令和4年12月12日(月)～令和4年12月18日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名	疾病名	高知県(56定点医療機関)						計	前週	全国(49週)	高知県(50週末累計)		全国(49週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				R4/1/3～R4/12/18	R4/1/3～R4/12/11		
インフルエンザ	インフルエンザ							()	3 (0.07)	1,238 (0.25)	25 (0.54)	6,280 (1.28)		
小児科	咽頭結核熱		1				1	2 (0.07)	()	421 (0.13)	301 (10.75)	23,783 (7.57)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1				1 (0.04)	14 (0.52)	1,157 (0.37)	316 (11.29)	49,582 (15.78)		
	感染性胃腸炎	3	6	16	1		5	31 (1.15)	41 (1.52)	13,757 (4.38)	3,234 (115.50)	567,313 (180.56)		
	水痘			1			3	4 (0.15)	8 (0.30)	351 (0.11)	147 (5.25)	11,626 (3.70)		
	手足口病		5	3	1		17	26 (0.96)	27 (1.00)	1,274 (0.41)	436 (15.57)	156,369 (49.77)		
	伝染性紅斑		1					1 (0.04)	()	27 (0.01)	28 (1.00)	1,805 (0.57)		
	突発性発疹	1		4	2	2	1	10 (0.37)	10 (0.37)	735 (0.23)	446 (15.93)	45,066 (14.34)		
	ヘルパンギーナ			1	1			2 (0.07)	()	529 (0.17)	106 (3.79)	37,089 (11.80)		
	流行性耳下腺炎							()	()	113 (0.04)	22 (0.79)	4,645 (1.48)		
	RSウイルス感染症		2	2			5	9 (0.33)	6 (0.22)	1,707 (0.54)	1,082 (38.64)	116,669 (37.13)		
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	6 (0.01)	()	157 (0.23)		
	流行性角結膜炎							()	()	160 (0.23)	19 (6.33)	6,082 (8.78)		
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	7 (0.01)	6 (0.75)	293 (0.61)		
	無菌性髄膜炎							()	()	8 (0.02)	1 (0.13)	404 (0.85)		
	マイコプラズマ肺炎			2				2 (0.25)	()	9 (0.02)	13 (1.63)	353 (0.74)		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	1 ()	()	30 (0.06)		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	()	9 (1.13)	93 (0.19)		
計 (小児科定点当たり人数)	4 (2.00)	15 (2.14)	30 (3.10)	5 (2.50)	2 (1.00)	32 (6.40)	88 (3.18)			21,500	6,191 (219.05)	1,027,639		
前週 (小児科定点当たり人数)	2 (1.00)	15 (2.15)	43 (4.73)	7 (3.25)	6 (2.75)	36 (7.20)		109 (4.00)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(56定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	高知県(56定点医療機関)						計	前週	全国(49週)	高知県(50週末累計)		全国(49週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				R4/1/3～R4/12/18	R4/1/3～R4/12/11		
インフルエンザ	インフルエンザ								0.07	0.25	0.54	1.28		
小児科	咽頭結核熱		0.14				0.20	0.07		0.13	10.75	7.57		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.11				0.04	0.52	0.37	11.29	15.78		
	感染性胃腸炎	1.50	0.86	1.78	0.50		1.00	1.15	1.52	4.38	115.50	180.56		
	水痘			0.11			0.60	0.15	0.30	0.11	5.25	3.70		
	手足口病		0.71	0.33	0.50		3.40	0.96	1.00	0.41	15.57	49.77		
	伝染性紅斑		0.14					0.04		0.01	1.00	0.57		
	突発性発疹	0.50		0.44	1.00	1.00	0.20	0.37	0.37	0.23	15.93	14.34		
	ヘルパンギーナ			0.11	0.50			0.07		0.17	3.79	11.80		
	流行性耳下腺炎									0.04	0.79	1.48		
	RSウイルス感染症		0.29	0.22			1.00	0.33	0.22	0.54	38.64	37.13		
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.23		
	流行性角結膜炎									0.23	6.33	8.78		
基幹	細菌性髄膜炎									0.01	0.75	0.61		
	無菌性髄膜炎									0.02	0.13	0.85		
	マイコプラズマ肺炎			0.40				0.25		0.02	1.63	0.74		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)											0.06		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)										1.13	0.19		
計 (小児科定点当たり人数)	2.00	2.14	3.10	2.50	1.00	6.40	3.18			219.05				
前週 (小児科定点当たり人数)	1.00	2.15	4.73	3.25	2.75	7.20		4.00						

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2022年 第50週)

